

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和5年度 第1回佐渡市公共施設あり方検討会議
開催日時	令和5年5月26日(金) 19:00~21:00
場所	佐渡市役所 3階 大会議室
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 委員自己紹介 5 座長の選任 6 事務局自己紹介 7 議事 <ol style="list-style-type: none"> 1) 佐渡市公共施設あり方検討会議について 2) 今後の進め方、スケジュールについて 3) その他(次回、委員会開催日について) 8 閉会
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席者	≪公共施設あり方検討委員≫ (11名) ≪市役所≫ (7名) ・佐渡市長 渡辺 竜五 ・事務局 財務部長 平山 栄祐 財産管理課長 齊藤 昌彦 財産管理課課長補佐 若林 昭宏 財産管理課公共施設適正化推進係主任 中川 英幸
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
	<p>1 開会 （開会宣言）</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>佐渡市は今、SDG s 未来都市の認定、脱炭素先行地区の認定、世界遺産のチャレンジ、移住定住、そしてこの冬の停電の課題、里山の問題、色々な意味で国から注目を受けている今が、地域づくりの変革の最大のチャンスでもある。</p> <p>財源である交付税は人口が基本であり人口減少が進む中では厳しい状況にあるが、この最大のチャンスを生かし、行政の効率化、民営化等で市民サービスを変えないレベルで取り組んでいかなければならない。その一つが公共施設のあり方である。</p> <p>合併して20年が経過し、経年による施設の老朽化や設備・機能の低下が進み、市民サービスの偏りもできているというのが旧10市町村の合併の形。この後、人口が減少し地方交付税が減る中で、市民サービスを高いレベルで維持するためにも、利用率も含めた公共施設のあり方というものをもう一度見直して市民の皆様に広く理解をしていただく必要がある。</p> <p>是非、皆様方から様々なご意見をいただき行政改革の大きな一環の1つとして公共施設の再編を進めていきたいという強い思いである。佐渡市の未来、子供達にとって良い持続可能なサービス構築のためにもよろしくお願い申しあげる。</p>
事務局	<p>4 委員自己紹介</p> <p>5 座長の選任</p> <p>座長の選任について、事務局一任との意見があったことから、事務局案として座長を推薦し、全会一致で決定。その後、座長により職務代理を指名。</p> <p>6 事務局紹介</p> <p>7 議事</p> <p>1) 佐渡市公共施設あり方検討会議について （資料01により説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会議の設置に至った背景・課題。 ・検討会議における議論の趣旨・ゴール ・会議の公開、その他について
座長	<p>以上の説明について、各委員から質疑等があれば、ご発言の方をお願いしたい。</p> <p>市有公共施設を人口規模に合わせて効率的に減らしていこうということだと思うが、この検討会議で検討していく公共施設数等を教えていただきたい。</p>
事務局	<p>佐渡市公共施設等総合管理計画に記載されている公共施設数は、総合計で767</p>

	<p>施設、1,351棟。その内、検討会議で方向性の検討をいただく施設は、市営住宅や学校等の個別の計画で既に検討されているものを除く、214施設302棟の建物が対象になる。</p>
座長	<p>私からもう1ついいか。</p> <p>最終的に数を減らすことで、全体でかかる予算を抑制することになるのですが、数を減らさなくても収支の改善もしくは民間を活用し維持管理費を抑えることである効果というものもあるのかと思うが、これは議論の対象になるか。</p>
事務局	<p>施設の管理運営方法についても、指定管理者制度や民間への売却等により効率的な運営がなされ、維持費や収支の改善につながるケースもあることから、そういった観点でもご意見いただきたい。</p>
座長	<p>アドバイザーにお尋ねするが、今の佐渡の公共施設の状況というのは全国的に見ても過剰な状況であるか。</p>
アドバイザー	<p>かなり多いです。ただし佐渡は離島・合併など特殊な状況であり、合併をした自治体は施設を多く持ちがちという傾向がある。本来、効率化のための合併であるはずが、合併特例債等を使って合併を契機に施設を作るというケースが非常に多く、逆に施設を持ちすぎている面があり、全国的に比較するとかなり物量としては多いのではないかと。</p>
座長	<p>住民にとって不便となるので、施設が減ることはなるべく避けたいし反対も多いと思うが。例えば施設を減らす中、住民にも受け入れられた例、逆に魅力的な部分が増えたと感じられたなどの事例はあるか。</p>
アドバイザー	<p>全国的によくある手法の1つは複合化。個々の施設を全部残していくのではなく、3つの施設を集約し1つの建物の中で3つの機能持たせればコストが減らせる。例えば学校で少子化により空き教室が増えているが、一方で高齢化が進み高齢者施設が不足している状況があり、学校の空き教室にデイサービスセンターを入れたらどうかとなる。そうするとちょうど過不足が相補うような形で収まり、子供たちが放課後にデイサービスセンターへ遊びに来るようになる。核家族化により子供と高齢者が接する機会も減っている中で、高齢者も子供と触れ合え非常にサービスの質が高まっているというケースもある。そのような工夫を色々と考えていけるとよいのではないかと。</p>
事務局	<p>2) 今後の進め方、スケジュールについて (資料02により説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議論のたたき台となる総合評価結果の評価方法の解説 ・財産分類毎の方向性の検討議論の進め方

	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を用いての再編・再配置の方策パターン ・年間スケジュール
座長	<p>質問、ご意見等あれば発言をお願いします。</p> <p>行政にとって古く魅力のない建物を民間が買ってくれるとはあまり思えない。解体するとなると鉄骨などの建物だと多くの解体費がかかることとなり、その解体予算を考えると、売れない建物が残ってしまう状況が最悪だと感じるのだがその辺りはどのように考えているのか。建物が廃屋のまま残ってくことは景観的にも好ましくなく倒壊などのリスクも大きいので、廃止にする方針だけが残ってくるものをどう扱うのか。</p>
事務局	<p>廃止にしても売却や譲渡等ができない場合、解体する体力がなければ残っていくことも考えられる。現時点でも1つ建物を壊すといっても数億かかるものも多々あり、しかも補助金や交付税などの措置を受けられないため、現時点でも先送りになっている施設もあることから優先順位をつけて対応しているところ。</p>
座長	<p>いずれ寿命を迎えるが、使える状態であれば維持コストを最小限にし、活用した方がよいのではと感じた。もう1点、コンサルの方は実際現地を視察して評価を出しているのか、図面上・GIS等の評価だけで見ているのか。</p>
事務局	<p>評価にあたっては、市が持っている利用実績などのデータを提供した上で評価いただいております、直接建物を見たくうえで評価したものではない。</p>
座長	<p>会議は、基本金井の会議室で行うのか。</p>
事務局	<p>今回は金井で開催させていただいたが、次回以降は、金井だけでなく、赤泊や相川など色々な場所で開催したい。</p>
座長	<p>現場の建物を見ないと、「活用できる」か「廃止もやむを得ない」といったイメージをしにくいので、全施設ではなくとも検討会議の中で施設を絞って、現場を見ながら検討していく方がよいのではないかと。</p>
事務局	<p>自分の身近な施設以外はよく分からないところもあろうかと思うので、出来るだけ実際に現地を見ていただくなど、よりご意見がいただけるような形を色々と相談させていただきながら進めていきたい。</p>
A 委員	<p>例えば使用頻度は少ないが、すごく愛されてる建物であるなどの情報は捉えているか。</p>
事務局	<p>施設設置の必要性や廃止した場合の市民生活に与える影響など、数値化できな</p>

座長	<p>い情報は2次評価の定性評価として施設を所管している部署が評価している。</p> <p>アドバイザー何かご意見いかがでしょうか。</p>
アドバイザー	<p>今日はずいぶん難しい話だと思われたのではないか。この検討会議の先には、佐渡市民の皆さんと問題を共有して、一緒に考え取り組んでいくことが大きな目標としてあるのかと思う。恐らくこの場で皆さんが分からないと感じることは、当然他の市民の皆さんも分からないことになるので、分からないことは、どんどん聞いて、資料もどんどん出してもらいやってることが必要でないかと思う。その時にもう少しポイントを絞りテーマの設定をして、話し合いをした方がよいのではないか。本日、お話聞いていて佐渡市は色々なことをきちんと調査し膨大なデータをお持ちだと感じたが、これ全部を理解して判断することは専門家でも相当難しいレベル。多々あるよくない会議のパターンで、行政の情報を全部示し市民の皆さんに聞いてみるものの、市民の皆さんはよくわからず、意見も言えずに何となく承認して終わるような会議になっては意味がない。全部出して全部見てもらうということではなく、どの部分であったら議論しやすいのかというところを絞っていくようにした方がよいのではないか。ファシリテーターもいらっしゃるので、何か話しやすい形で、次回以降進めていけるとよいかと思う。</p>
座長	<p>ファシリテーターいかがでしょう。</p>
ファシリテーター	<p>やはり第3回からの話し合いをどのように進めていくか、何をテーマに話していくのかということがすごく大切だと思う。例えば農業など関係のない分野の方もいらっしゃる中で、農業施設のことについて話し合っただれほどの公正な議論ができるかということかなり難しいと思うので、このメンバーでより意味のある話し合いをしていくにはどうしていったらよいのかを、しっかり考えて組み立てていきたいと思う。これはすごく辛い話し合いだと思うが、でも逆に今までの公共サービスよりも価値を上げていく機会でもあるとも思う。先ほど複合化の話もありましたが、今逆に不便なものがこれをきっかけにより便利になるという考え方も必要だと思うので、佐渡がより暮らしやすくなるために、施設がより良い形で活用できるようにどうしていったらよいかというポジティブな話し合いができるとよいと思う。</p>
事務局	<p>3) その他(次回、委員会開催日について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の会議日程について、6月中旬で委員予定に基づき調整 ・ 平日開催・土日開催の確認
ファシリテーター	<p>進め方として、例えばどこかの地域に少しフォーカスを当てて、実際その地域の施設を見ながら議論するのであれば平日夜では難しい。そういう場合は日曜日の半日かけてやるような感じになるのかもしれない。</p>

座長	<p>例えば4班程度に分かれて、それぞれの施設を見てくるような形にし、次の回にそれぞれの班が発表することもやり方としてあるのかもしれない。必ずしも全員で集まっても全員が議論できるわけではないし、興味のあるところで議論を深めて、それを持ち寄って方針として決めていく方が有効かと思う。</p>
A 委員	<p>是非お願いできたらワークショップ的に少し動きのある話し合いだと有難い。</p>
事務局	<p>色々ファシリテーター、座長に相談させていただきながら、意見を出しやすいような形を検討してまいりたい。</p>
座長	<p>最後に全体通じて何か質疑等があれば。</p>
B 委員	<p>次回の会議資料はどのようなものが出てくるのか。今決まっていたら教えてもらいたい。例えば、個別に収支や稼働率などは出てくるのか。</p>
事務局	<p>今回は佐渡市公共施設等総合管理計画に沿って説明をさせていただく予定。建築年や改修情報の乗っている施設カルテというものが施設個々にありますので、ファシリテーター達と相談したうえで、分かりやすい資料を提出したい。</p>
B 委員	<p>先ほど、佐渡市はかなり施設数が多いとの話でしたが、実際どの程度多いのか分からないので、その辺の資料も提示していただきたい。</p> <p>あと、将来的な財政状況を鑑み、施設に関してどれ程減らさなくてはならないという指標があるとすれば、施設の廃止の必要性などの議論ができるような資料をお願いしたい。</p>
C 委員	<p>膨大な資料があり、私達がそれを見てどういう意見を言ってよいのか、量が多すぎて意見を言えない状況である。ここまで専門的な分野で調査しているので、私達は資料を見て単純に意見だけ言ってよいのか、その辺りが分かりにくい。</p>
ファシリテーター	<p>先程、アドバイザーが仰っていたとおり、情報が全て整っていれば、それを開示しても意見が出てくるかということ必ずしもそうではない。何をターゲットに話し合うのか、そのためにどのような情報を出していく必要があるのかということについて、3回以降は考えていかなければならない。皆さんが分かりやすく議論しやすいテーマを、今の段階では分からないとは思いますが、やりながら少しずつ改善していく必要があるかと。そういったご意見を是非あげていただきたい。</p>
アドバイザー	<p>情報やテーマ自体を整理することももちろん必要だが、専門家としての評価は専門家がデータを使えばできるので、そういった視点で議論いただく必要はないかと思う。むしろ本日も意見があった、施設の愛着とか使ってみての問題とか施設</p>

C 委員	<p>のよいところなど、施設を使う側の専門家は市民の皆さんであるので、まさに専門家の視点ではなく使ってみての感想や市民として施設への思いなどを意見していただくことが一番よいと思う。</p> <p>改廃評価となっている施設を私達が市民目線で見ると、手法も含めて継続ではないかなどの意見を言うことはできると思う。集まって意見した内容が反映される形でないといけないと思うがいかがか。</p>
アドバイザー	<p>廃止するか継続するかの最終的な決定は、色々なことを調整しながら市が責任をもって決めていくことになるかと思うので、結論を話し合うというよりは結論に至るまでの様々な視点や意見を出していき行政に伝えていく過程の方が大事ではないか。</p>
座長	<p>意見を言ったが結局コンサルのとおりとなるのであれば何のための議論になってしまう。そのあたりは何かルールなのか、建設的に残せる建物の残すための活用手法、民間を活用するなども含めて、やり方的な部分は何か示せばと。</p>
ファシリテーター	<p>複合化や民間の施設を活用すれば、この地域にこの機能を残すことができる、この施設が無くなっても民間でこのような場所があるからそれを活用できるとか、そういった議論がなされていく必要があるのだと思う。例えば財産分類ごとに話をした時に複合化という視点はなく中々議論は進まないと思うので、どのようなテーマにするのか、どのような組み立て方をするのかを考えないと建設的な話し合いになっていかないのではないかと思います。</p>
	<p>8 閉会 (平山財務部長より閉会の挨拶)</p>